

スウェーデンパン講習会を通して 宇和島にもスウェーデンの味を伝えました

町では、2月14日にあそ雪の広場を楽しもうと来町していた愛媛県宇和島市観光協会（20名）の一行に、ふれあい倉庫に設置しているスウェーデンパン焼き窯を利用したパンの講習会を開催しました。



友好交流を行っている宇和島の方々にも、当別町とスウェーデン・レクサンド市との交流を理解してもらおうと開催したもので、スウェーデンパン作りの実践グループ「スピエレット」のメンバーが講師として、パンの特徴や生地作り、焼き方を丁寧に教えました。

ふれあい倉庫情報

【カルチャーホール】

地場産品コーナーに新規登録を希望する 農業者に説明会を開催します

ふれあい倉庫の「地場産品コーナー」では、町内の農業者の方に登録いただき、農産物等のPRと販売を行っています。

来年度に新規登録を希望する農業者を対象に説明会を開催します。参加を希望する方は、3月17日（火）までにふれあい倉庫へ電話で申し込みください。

▼説明会開催日時 3月26日（木）18時～

▼場所 ふれあい倉庫

▼内容 登録条件・登録件数・申込方法など

▼申込み・問合せ

ふれあい倉庫（☎27-6600）（月曜は休館）

◆ふれあい倉庫からのお知らせ◆

☆レジ袋削減に取り組みます

ふれあいホール運営協議会では、新年度から地場産品コーナーで使用しているレジ袋の消費削減に取り組み、環境への配慮や経費の削減を目指します。

詳細は、今後の町広報等でお知らせします。

▼問合せ ふれあい倉庫（☎27-6600）

商工課（☎23-3129）

続

町長の日記

平成21年2月15日（日）

第27回「あそ雪の広場」が2月14日、15日に催され、延べ7,000人の町民が当別の冬を楽しんだ。今年には友好都市の宇和島市からも20人の訪問団が来られた。

宇和島は、伊達政宗の長男秀宗が暮らしていた所と言え判り易いが、実際は奥羽の名将政宗の力を恐れていた豊臣秀吉が政宗の長男を人質にして四国の宇和島へ遠島させていたと言う事ようだ。

当別も伊達系だが、岩出山支藩の流れなので、宇和島よりは格が下になるらしい。

当別町と岩出山町は古くから交流していたが、平成18年に岩出山町が合併により大崎市となり、岩出山がなくなるので佐藤岩出山町長のお計らいで宇和島市、岩出山町、当別町の三極交流の契を結んだのである。

宇和島市観光協会の渡辺さんが「祭りと言うものは夏か秋に催されるものと思っていたが、真冬にこんな祭りがあるとは驚いた」と挨拶された。

広場の中心の大すべり台はじめ全ての雪像は、市街地の排雪を利用して作っている事や各学校のグラウンドに子供達の手作りの雪像が沢山ある事、そして、町を挙げて60以上もの各団体が揃って後援している事にもびっくりされていた。

特に、当別音頭を守る会の方々が寒中に浴衣姿で政宗が好んだ“三叉時雨”を踊っているさまと、商工会女性部がお揃いのハッピーで温かいものを作っている女性パワーに感動して「当別町の発展は間違いなし」とおっしゃっていただいた。

2日間、17の盛り沢山なスケジュールの中で、大スポンサー付きの雪中玉入れ競技には13チームが参加した。これには宇和島チームも参加してくれて、自衛隊チーム、消防チーム、役場チームなど優勝候補が密かにビッグな賞品を狙っていたらしいが、商工会青年部チームが優勝した。

真珠会館社長の森田澄江さんが「雪空の花火の美しさは忘れられません。今度は宇和島の牛鬼祭りに真珠と鯛の鱗を散りばめたような海から打ち上げる花火を見にきさいや（来て下さい）」とおっしゃって帰られた。

戦国の武将政宗は、戊辰の役では敗れた伊達の末裔が拓いた当別が今は自然とは闘わず上手く付き合っていることを喜んでくれているだろう

当別町長泉亭俊考